

クイックスタートガイド

このたびは、本製品をお求めいただきまして誠にありがとうございました。Nゲージ鉄道模型は精密にできておりますので、この説明書をお読みになって、すえ永くご愛用いただきますようお願いいたします。また、プランバリエーションガイドブックにはNゲージレイアウトの世界が広がる、ユニットラックを使用したレイアウトプランが多数掲載されておりますので、ぜひご覧ください。

スタートさせるのは次の順序で！

フィーダーコードの接続

踏切線路の組み立て

線路をつなぐ

パワーパックへの接続

ポイントスイッチの接続

ポイントの操作

車両を線路にのせる

車両の運転

収納

● Nゲージ鉄道模型について

Nゲージ鉄道模型は、直流2線式で運転します。直流2線式とは、パワーパックで家庭用電源の交流(AC)100V(ボルト)を直流(DC)0~12Vに変換し、その電流をレールに流す方式です。その時、2本のレールがそれぞれ(+)と(-)になります。

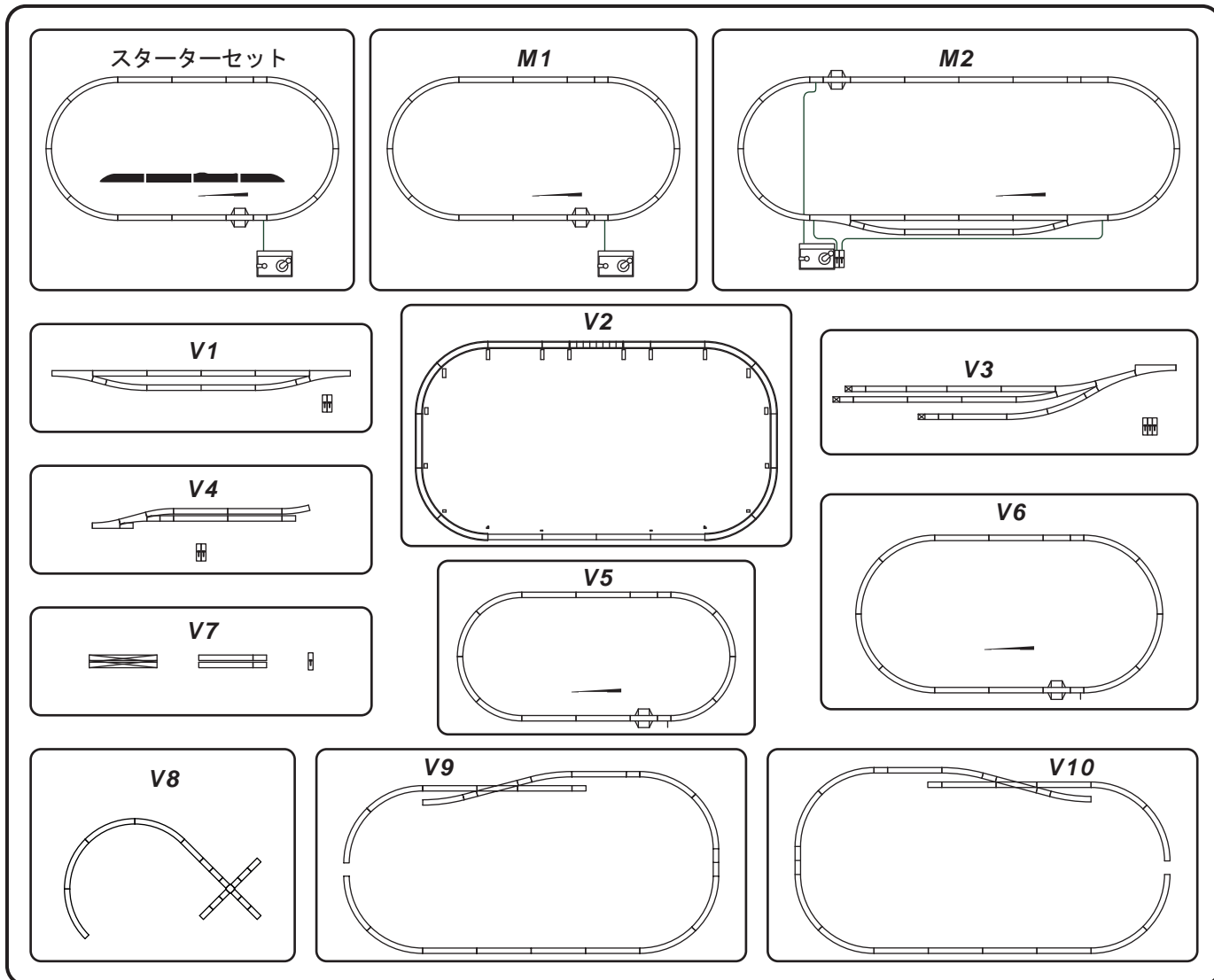
動力 Nゲージの動力車(モーター付車両)は、車輪を通してレールから電流を取り入れ、モーターを回し、その回転力をシャフトとギアで車輪に伝えて走行します。

スピードコントロール 車両(動力車)のスピードコントロールは、パワーパックのコントローラーを回して線路にかける電圧を上下(0~12V)させて行います。

進行方向 車両(動力車)の進行方向を変えるには、パワーパックの逆転レバーを操作して、レールに流す電流の向き(+)と(-)を切り換えることによって行います。

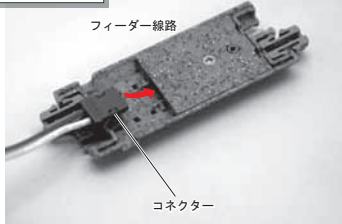
● セットバリエーション

※各セットの詳しい内容については、ユニットラック・プランバリエーションガイドをご覧ください。



フィーダーコードの接続

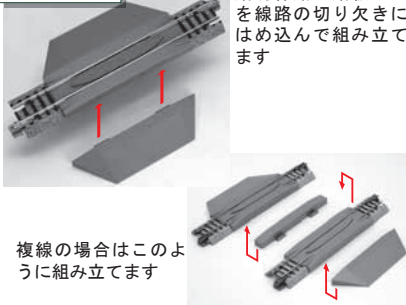
スターターセット
M1・M2
V5・V6



フィーダー線路は、パワーパックからの走行電流をレールに流す入り口で、専用のコードで接続します（フィーダーコードのコネクターは、白-パワーパック側、グレー-線路側にしっかり接続します。）

踏切線路の組み立て

スターターセット
M1・M2
V5・V6

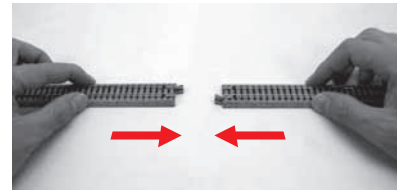


踏切線路は踏板ツメを線路の切り欠きにはめ込んで組み立てます

複線の場合はこのように組み立てます

踏切部分は脱線復元機能を持っています。

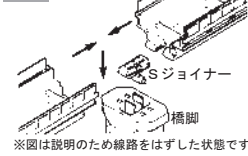
線路をつなぐ



写真の様に、線路で、互いのユニジ結部品)にレールすぐ押し付けます音とともに確実に走行などによってません。

●高架線路の場合

V2



使用する時には、水平に押し込んで確実に連結してください。はずす時には、水平に左右に軽く折って引き抜いてください。上下に折ると破損の原因となります。

※図は説明のための線路をはずした状態です。



ユニトラック高架システム基本寸法

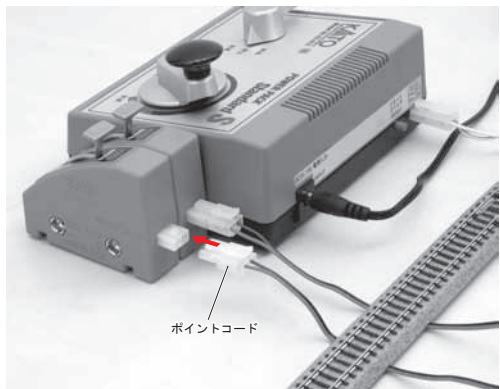
橋脚には高さを表す番号が付いています

ポイントスイッチの接続

M2
V1・V3・V4・V7



ポイントスイッチをパワーパックの右側面のスナップ形端子（電動ポイント用給電ターミナル）にしっかり押し付けて取り付けます。



ポイントコードをポイントスイッチに接続します。

ポイントの操作

M2
V1・V3・V4・V7



ポイントスイッチの切り換えレバーを直線側と曲線側に切り換えて、車両の進む方向を変えます。

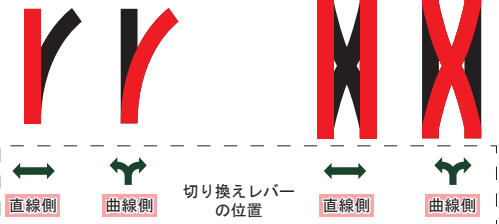


切り換えレバーを途中で止めると、ポイントの故障の原因となります。必ず最後まで動かしてください。

●車両の進む方向（■の方へ進みます）

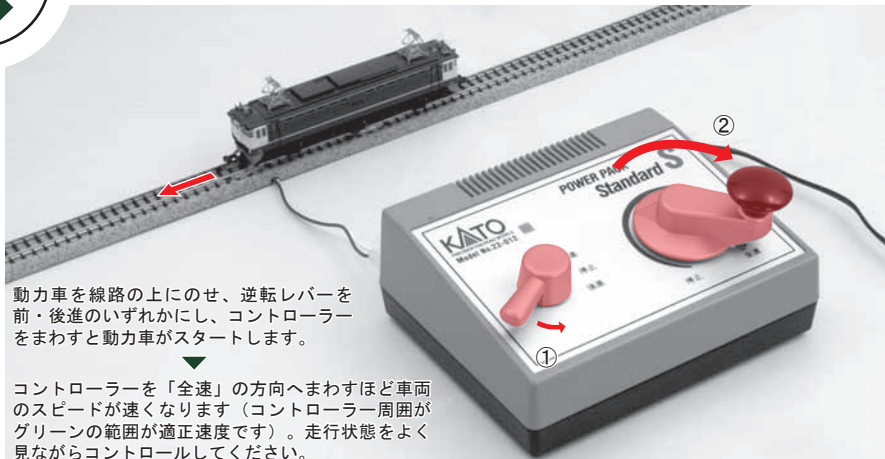
4番・6番ポイント

複線両渡りポイント



- ① 図1ではポイントA・Bともに曲線側に切り換わっている車は走行しません(待避状態)。ポイントを直線側に切り換
- ② 図2のように、ポイントA・Bがそれぞれ曲線側・直線側時に走行し、ポイントAのところでぶつかってしまいます

車両の運転



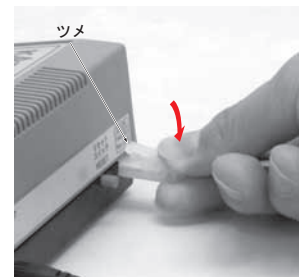
動力車を線路の上のせ、逆転レバーを前・後進のいずれかにし、コントローラーをまわすと動力車がスタートします。

コントローラーを「全速」の方向へまわすほど車両のスピードが速くなります（コントローラー周囲がグリーンの範囲が適正速度です）。走行状態をよく見ながらコントロールしてください。

車両の脱線や過負荷によってパワーパックの安全器が作動しますが、リセットスイッチはその状態を復帰するものです。原因を取り除いた後、スイッチを押してください。

収納

●コード類をはずす

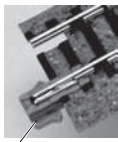


フィーダーコネクター・ポイントコードはツメでゆるみを防止する構造になっています。はずす時は写真のようにコネクターのツメをはずしてから引き抜きま



電源アダプターの電源アダプターの電源アダプター

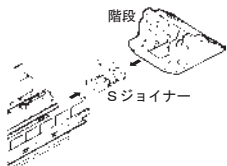
写真の様に、線路どうしを水平にし、互いのユニジョイナー（線路連結部品）にレールを少し入れてまっすぐ押し付けますと、パチンという音とともに確実につながり、列車の走行などによってゆるむことはありません。



ユニジョイナー

は、水平に押し連結してください

水平に左右に引き抜いてくださると破損の原因

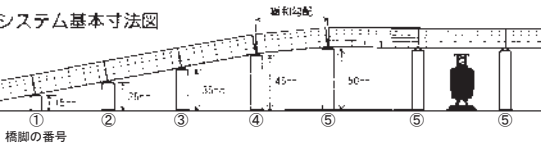


階段

Sジョイナー

階段と接続する際はSジョイナーを上下逆に使いま

システム基本寸法図

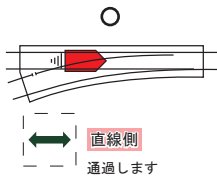


橋脚の番号

進みます)

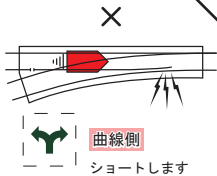


ポイント



直線側

通過します



曲線側

ショートします



曲線側

上図のような向きで車両が走行する場合、必ず車両が通過する方向にポイントを切り換えてください。車両が通過する方向とポイントの切り換え方向が違くとショートをおこします。

切り換わっているのに、直線側には電流が流れず列を直線側に切り換えると列車は走行します。

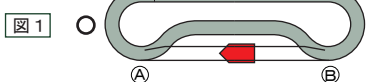


図1

れ曲線側・直線側になっていると、両方の列車が同かかってしまいます。

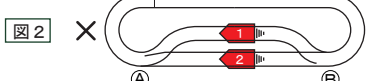


図2

パワーパックへの接続

●パワーパック各部の説明

パイロットランプ (電源が入っているとき点灯) コントローラー (列車の速度をコントロールする)



逆転レバー (列車の進行方向を変える)

スターターセット M1・M2



専用電源アダプタージャック

リセットスイッチ

白色コネクター (車両運転専用) 直流 (DC) 12V

●コード類の接続

専用電源アダプターのコネクターをパワーパックの専用電源アダプタージャックに差し込み、専用電源アダプターをコンセントに差し込むとパイロットランプが点灯します。

コントローラーの位置を「停止」、逆転レバーを「停止」の位置にしておきます。

フィーダー線路から出ているコネクター白をパワーパックのDC (直流) 出力・白に接続します。

専用電源アダプター



コネクター

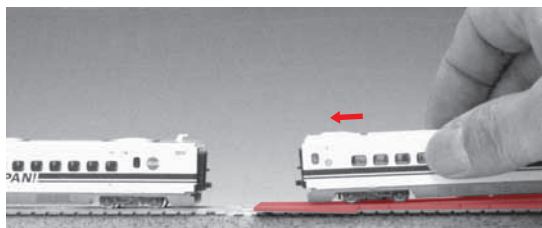


白コネクターへ

専用電源アダプタージャック

ポイントスイッチの接続

車両を線路にのせる



リレーヤーをレールにのせ、中央部に車両をのせて、静かに線路へ押し出します。

車両の取り扱いについては、スターターセットは別紙説明書・別に車両をお求めになった場合は車両に付属の説明書をご覧ください。

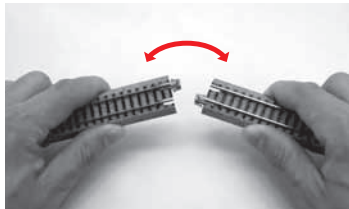
車両の運転

●線路をはずす



電源アダプターのコネクターをパワーパックの専用電源アダプタージャックから引き抜きま

電源アダプターをコンセントからはずしま



写真のように片方の線路を押しさてもう一方の線路を水平に軽く手前に折るようしながら引き抜くと簡単にはずれます。



無理に上下に折り曲げると、ユニジョイナー部を壊すおそれがありますのでご注意ください。

スターターセット M1・M2

この説明書が入っていた場所に収納できます。

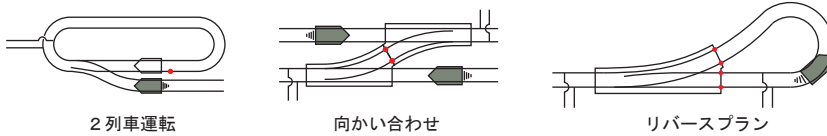


スターターセット・マスターシリーズの説明書が入っていた場所には、後からお求めになった車両セットのケースや、線路等を収納することができます。

スターターセットの、車両が入っていた場所にある小さいトレイをはずすと、そこにも線路等を収納することができま

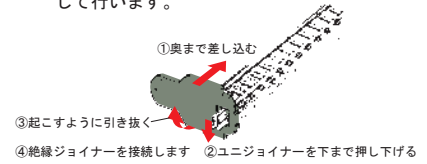
●ポイントの使用について

次のような場合には、絶縁ジョイナー(品番24-816)によってギャップ(電氣的絶縁)が必要です。

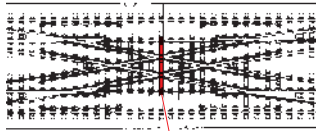


●部分のユニジョイナーを、絶縁ジョイナーに交換します。

交換は、リレーラーに付属しているジョイナーはずしを使用し、ユニジョイナーをはずして行います。

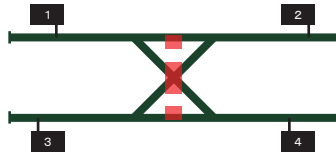


●複線両渡りポイント(ダブルクロス)について

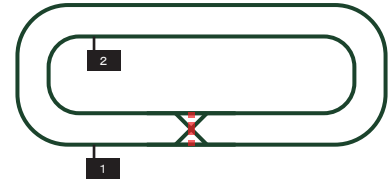


絶縁部分

複線両渡りポイント(ダブルクロス)は、ポイント4本とクロス線路1本を組み合わせたような構造になっています。クロス部分には絶縁部分があり、電氣的に4つの区間に分かれています。



クロス部分が絶縁されているため、ダブルクロスをはさんだ4本の線路にはそれぞれ1本ずつフィーダー線路が必要になります。



上図のように、内側と外側がエンドレス(一回りして元に戻って来る)になっているとフィーダー線路は2本で済みます。

●故障かな?と思ったら トラブルが発生したら、下記の点検・確認をしてください。

パワーバックの電源アダプターのコードは、差し込まれていますか?

ACコンセントやパワーバック背面のプラグをきちんと差し込んでください。

パワーバックのパイロットランプは、点灯していますか?

点灯していない場合は、ショートが考えられます。原因を取り除き、背面のリセットスイッチを押してください。

フィーダー線路からのコードは、きちんと差し込まれていますか?

パワーバックの背面コネクターとフィーダー線路の表面のコネクターを確実に差し込んでください。

線路は確実に接続されていますか?

レイアウト全体の線路接続部分を確認し、確実に線路を接続してください。

レールの上面が汚れていませんか?

運転の前後には、布や歯ブラシにユニクリーナーをつけて、レール上面の汚れを落としてください。

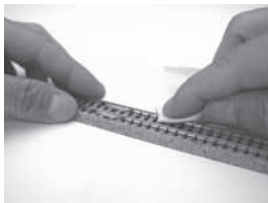
動力車(モーター付車両)の車輪が汚れていませんか?

運転の前後には、布や歯ブラシにユニクリーナーをつけて、動力車の車輪の汚れを落としてください。

点検・確認をしてもトラブルが解消しない場合、もしくは修理を依頼される場合は、お買い上げいただいた販売店か、株式会社関水金属・お客様サービス係(TEL:03-3954-2503)へご相談ください。

●線路や車両のお手入れについて 定期的に行うことで、トラブル発生を事前に予防しましょう。

線路



運転の前後には、レールの上面を布や歯ブラシなどにユニクリーナーをつけて磨き、その後空拭きをしてください。

車両



動力車(モーター付車両)の車輪が汚れたら、布や歯ブラシなどにユニクリーナーをつけて磨き、その後空拭きをしてください。

高速での長時間運転や、車両が走っているままでの急激な逆転レバーの切り替えは、車両・線路の汚れの原因となりますので、おやめください。線路をクリーニングする場合は紙ヤスリで磨いたり、水拭きはしないでください。線路を痛めたり、腐食の原因となりますので、おやめください。



KATO 鉄道模型ホームページ

<http://www.katomodels.com>

続々と発表されるKATOの新製品を中心に、イベント案内やワンポイントアドバイスなど、最も役立つ情報がいっぱいです。Assyパーツなどの「ホビーセンターカトール」のページやDCC関連の情報を発信している「カトールカスタムショップ」のページもあわせてご覧ください。

*製品の形状・仕様・印刷物の内容等は、予告なく変更する場合がございますので、ご了承ください。

*製品につきまして、万全の注意をはらって製造にあっておりますが、万一お気づきの点がございましたら、下記までご連絡願います。

お客様サービス係 TEL:03-3954-2503(土日・祝を除く10~17時)

〒161-0031 東京都新宿区西落合1-30-15

KATO 株式会社 関水金属

不許複製

010-0078-0606